

令和5年11月 「はこでみ親の会 フォローアップ！」

今回のフォローアップの中で出てきた話題は、我が子の「困り感」と「やる気スイッチ」です。

子ども自身が自分の現状に「困り感」がないと、いくら親が焦ったり改善策を伝えたりしても、「別に今のままでいいし」「困ってないし」と気にも止めず改善への意識を持ってくれません。

また、親から見ると何事にも無気力で否定的で不安が強く活動を継続できない我が子の「やる気スイッチ」は、いつ入るのか？そもそもスイッチはあるのか？まさかこのまま何も変わらず大人になっていくのか？など不安で仕方ありません。

親としては、我が子に自分の立場や状況を客観的に見て危機感を抱き「このままじゃ駄目だ」と困り感からくる焦りをバネに改善の方向に向かって欲しいと強く願っています。それと同時に苦手な面を改善しながら自分の将来のために「やる気スイッチ」を入れて努力して欲しいとも願っています。

これは贅沢な願いでしょうか？

いえ。親なら誰しもが我が子に対して期待も込めて願っている事だと私は思います。ただ、発達特性を持つ子には、時間が必要です。親にとっては途方もなく長い時間を感じるかもしれません。周りの子はどんどん先に行ってしまう我が子だけが取り残されているようにも感じるかもしれません。

でも大丈夫です！

どんな子も「困り感」を持って現状を改善し、「やる気スイッチ」を入れて努力する力を持っています！

それには、我が子を信じる強い気持ちと我が子のペースを尊重し焦らず待ってあげる余裕が必要です。

しかし、それが一番難しい(*≧д≦)

そこで「はこでみ親の会」の出番です！
皆さんは一人ではありません！

はこでみ親の会では、毎日辛くて不安で押しつぶれそうな中、それでも我が子のために懸命に頑張っている保護者の方々の為に全力でサポートしていきます。

